



■活動内容

- ・コミュニティカフェ「ごんせ」の運営
毎週水・土曜日10時～15時 利用料:100円
- ・サロンの企画運営
月に1回「健康教室」「歴史講座」「お出かけサロン」など。
- ・地域の独居高齢者および高齢者世帯の見守り活動
- ・文化祭の企画運営と手芸・花・伝統食研修など
- ・米原市との協働事業で「ITを使ったみんなで支えるコミュニティづくり」を推進
- ・ご近所元気にし隊員による体操教室

| | |
|--------------|--|
| ■団体名 | 河内区福祉委員会 |
| ■参加者 | 構成員10名、ボランティアスタッフ28名 |
| ■活動拠点 連絡先 | 米原市梓河内423番地（河内会館） 代表者：宮部 道雄 TEL：0749-57-0728 |

■活動のきっかけ・実現までの経緯

河内区福祉委員会は、H25年度米原市お茶の間創造事業モデル団体として登録され、活動は6年目を迎えます。河内会館を拠点として利用、区の資金で会館をリノベーションし、新しい会館で積極的に居場所づくりに取り組まれています。

お茶の間を始められたことから、住民の健康への関心が高まり、会館を週2回開けていることで村に誰が来たかわかり、防犯にもつながっているなどの効果がありました。

さらに、移動販売車を呼び込み買い物支援を行うことや、健康教室や歴史講座など出前講座等を活用し、区民生活の満足度の向上を図っています。

また、米原市と協働事業として「ITを使ったみんなで支えるコミュニティづくり」を推進し、現在7名の80代高齢独居者を見守っています。



利用者さんの声

今まで会館に集まることはありませんでしたが、お茶の間を始めたことで週2回のカフェに集まり、区の情報共有できるようになりました。

さらに、私たちの意見や要望が区に反映されるようになりました。

活動者の声

笑顔の高齢者と元気な高齢者が増え、高齢者とボランティアの世代を超えたつながり・コミュニケーションが生まれました。毎週2回、カフェに参加するのが楽しみです。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

運営にあたっては、市のお茶の間創造事業補助金を活用するとともに、カフェ等の利用料を活用しています。今後は「高齢者の健康と利便性・満足度」と「地産地消」「運営側の安定的な資金確保(カフェ運営の継続など)」の三方よしの狙いで、地域ニーズに応える、地域住民みんなで支える「地域福祉のコミュニティ」づくりを目指します。